

二次方程式（学校のワークで難しい問題をピックアップ）

* 左が問題、右が解答。右側を隠しながら白紙などにやってみてください。

3 二次方程式 $(x-3)^2=k$ の解は2つあり、どちらも正の整数である。これを満たす k の値をすべて求めなさい。

3 二次方程式 $(x-3)^2=k$ の解は2つあり、どちらも正の整数である。これを満たす k の値をすべて求めなさい。

$$\begin{aligned}(x-3)^2 &= k \\ x-3 &= \pm\sqrt{k} \\ x &= 3\pm\sqrt{k}\end{aligned}$$

$3\pm\sqrt{k}$ が正の整数となるのは、 \sqrt{k} が1または2のときである。
 $\sqrt{k}=1$ のとき、 $k=1$
 $\sqrt{k}=2$ のとき、 $k=4$

$k=1, 4$

3 二次方程式 $2x^2-5x+c=0$ の2つの解の差が $\frac{7}{2}$ のとき、 c の値を求めなさい。

3 二次方程式 $2x^2-5x+c=0$ の2つの解の差が $\frac{7}{2}$ のとき、 c の値を求めなさい。

$$\begin{aligned}2x^2-5x+c=0 \text{ を解くと,} \\ x &= \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 2 \times c}}{2 \times 2} \\ &= \frac{5 \pm \sqrt{25-8c}}{4}\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}5 + \sqrt{25-8c} > 5 - \sqrt{25-8c} \text{ だから, 2つの解の差は,} \\ \frac{5 + \sqrt{25-8c}}{4} - \frac{5 - \sqrt{25-8c}}{4} &= \frac{2\sqrt{25-8c}}{4} \\ &= \frac{\sqrt{25-8c}}{2}\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{これが } \frac{7}{2} \text{ と等しいから, } \frac{\sqrt{25-8c}}{2} &= \frac{7}{2} \\ 25-8c=49 \text{ より, } c &= -3\end{aligned}$$

$c=-3$

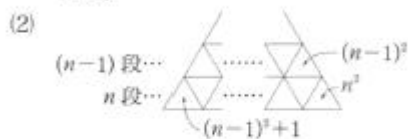
2 下の図のように、ピラミッド状にしきつめた正三角形に、自然数が規則的に書かれています。図は、上から4段目までを示しており、5段目から下は省略してあります。 (長野)



(1) 上から n 段目の右端の数を、 n を用いて表しなさい。

(2) n が2以上のとき、上から n 段目の右端の数と左端の数の和が222になるのは、 n がいくつのときですか。

(1) 右端の数は上から1, 4, 9, 16, ...と段の数の2乗になっている。したがって、 n 段目の右端の数は n^2 になる。



左端の数は、1段上の右端の数より1大きい数となるから、 $(n-1)^2+1$ と表される。したがって

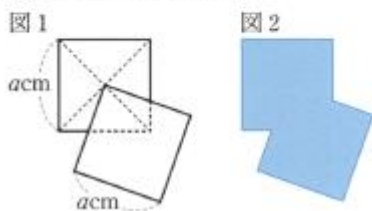
$$\begin{aligned}n^2 + \{(n-1)^2 + 1\} &= 222 \\ n^2 + n^2 - 2n + 1 + 1 &= 222 \\ 2n^2 - 2n - 220 &= 0 \\ n^2 - n - 110 &= 0 \\ (n+10)(n-11) &= 0\end{aligned}$$

したがって

$$\begin{aligned}n &= -10, n = 11 \\ n \geq 2 \text{ であるから} \\ n &= 11\end{aligned}$$

3 1辺が $a\text{cm}$ の正方形の紙が2枚あります。
 下の図1のように、一方の紙の対角線の交点に、もう一方の紙の頂点の1つを重ねて置き、このときできる図形に、図2のように上から色をぬります。

色をぬった図形の面積が 112cm^2 となると、 a の値を求めなさい。 (鳥取)



3 2つの正方形の重なった部分の面積は、正方形の面積の $\frac{1}{4}$ であるから

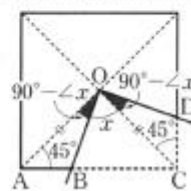
$$2a^2 - \frac{1}{4}a^2 = 112$$

$$\frac{7}{4}a^2 = 112$$

$$a^2 = 64$$

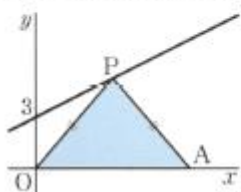
$a > 0$ であるから $a = 8$

右の図において、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから $\triangle OAB \equiv \triangle OCD$ したがって、重なった部分の面積は $\triangle OAC$ と等しくなる。



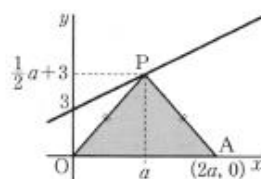
8 直線 $y = \frac{1}{2}x + 3$ のグラフ上に、点Pをとり、 $PO = PA$ が成り立つように点Aをx軸上にとります。

$\triangle POA$ の面積が20になるような点Pの座標を求めなさい。ただし、Pのx座標は正とします。



8 Pのx座標を a とすると、y座標は $\frac{1}{2}a + 3$

と表される。また、 $\triangle POA$ は二等辺三角形であるから、Aの座標は $(2a, 0)$ と表される。



したがって

$$\frac{1}{2} \times 2a \times \left(\frac{1}{2}a + 3\right) = 20$$

$$2a\left(\frac{1}{2}a + 3\right) = 40$$

$$a^2 + 6a = 40$$

$$a^2 + 6a - 40 = 0$$

$$(a - 4)(a + 10) = 0$$

$$a - 4 = 0 \quad \text{または} \quad a + 10 = 0$$

$$a = 4, \quad a = -10$$

$a > 0$ であるから、 $a = -10$ は問題に適していない。

したがって $a = 4$

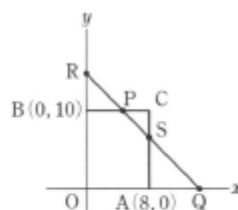
$a = 4$ のとき、Pのy座標は

$$y = \frac{1}{2} \times 4 + 3$$

$$= 5$$

したがって、P (4, 5)

8 右の図で、点Oは原点であり、点A、Bの座標はそれぞれ(8, 0)、(0, 10)である。点Aを通り、y軸に平行な直線と、点Bを通り、x軸に平行な直線の交点をCとする。点Pは、線分BC上を点Bから点Cまで動く点である。点Pが、2点B、Cと異なる点であるとき、点Pを通り、傾きが-1の直線をひき、x軸、y軸、線分ACとの交点をそれぞれQ、R、Sとする。このとき、次の問いに答えなさい。 (香川改)



□1) 点Pのx座標を a とするとき、 $\triangle AQS$ の面積を、 a を使った式で表しなさい。

□2) 長方形OACBと $\triangle OQR$ の重なる部分の面積が、 $\triangle AQS$ の面積の4倍になるのは、点Pのx座標がいくらのときか。点Pのx座標を a とし、 a の値を求めなさい。

8 (1) 直線PSの傾きは-1だから、

$$BR = BP = a, \quad OQ = OR = a + 10$$

$$AS = AQ = OQ - OA = a + 10 - 8 = a + 2$$

$$\triangle AQS = \frac{1}{2} \times AS \times AQ = \frac{1}{2} (a + 2)^2$$

(2) $CS = CP = 8 - a$ より、 $\triangle CPS = \frac{1}{2} (8 - a)^2$

長方形OACB - $\triangle CPS = 4\triangle AQS$ より、

$$10 \times 8 - \frac{1}{2} (8 - a)^2 = 4 \times \frac{1}{2} (a + 2)^2$$

これを解いて、 $a = \pm 4$ 、 $0 < a < 8$ より、 $a = 4$